

平成 30 年度岡山市市民協働推進モデル事業 中間評価表

実施団体	NPO 法人岡山・ホームレス支援きずな	NPO 法人おかやま UFE	一般社団法人ほっと岡山
協働部署	生活保護・自立支援課	住宅課	
記入日	平成 30 年 11 月 14 日		

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
<p>①各居場所にて利用者へのアンケートを行い、数値や感想の変化を共有しつつ、必要に応じて改善策を検討する。</p> <p>(アンケート項目の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・利用しての感想 ・サポート希望の有無 ・アウトリーチ実施件数 <p>②次年度以降も各居場所の運営者が無理なく情報を共有できるような機会・媒体を検討する。</p>	<p>【安楽亭】</p> <p>(1) 実施状況：毎週土曜日/通算 20 回</p> <p>(2) 参加者数：のべ 516 名 (9 月末時点)</p> <p>(3) 所感など：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は前年度から大きな変化なくほぼ想定どおり。ホームレス以外の方がやや入りづらいかもしれない。 ・周辺住民の認知は広がっており、協働事業の成果を実感している。 ・居場所で相談を受けることは難しかったが、「相談ができる」と知ってもらえたことには意義があった。 <p>【うてんで食堂】</p> <p>(1) 実施状況：毎月最終土曜日/通算 5 回</p> <p>(2) 参加者数：のべ 119 名 (10 月末時点)</p> <p>(3) 所感など：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の年齢層は 10 代から 70 代まで、男女比はほぼ均等であり、幅広い利用があった。 ・初めて参加する方どうしが一緒に昼食をしながら、気軽に会話をする光景がみられた。また、年齢や障害の有無などに関わらず、それぞれが「できること」「得意なこと」を活かして、食事の準備に協力いただいた。 	<p>・参加者数について：参加者数は想定どおりで認知も広がっており、大きな改善は必要ないと思われる。</p> <p>・利用者の感想について：それぞれの居場所の特色が見えてきている。食事、雰囲気、スタッフ対応など、いずれも高い評価をいただくことができています。参加者からメニューやイベント内容などについて希望の声があり、このような参加者の声を反映させていくことで、地域の方と一緒に作り上げた居場所として定着していくことが期待される。</p> <p>・相談やアウトリーチについて：それぞれが抱える悩みや困りごとを打ち明け、相談につなげるには、当該居場所が、地域の方にとって「自分の居場所」として認知され、気軽に参加し、お互いに会話できる環境づくりを進めていくことが必要である。</p> <p>・情報共有の機会・媒体について：平成 31 年度より生活保護・自立支援課にて「包括支援会議 (仮)」を開催予定。引き続き、効率的な情報共有の方法を検討していく。</p>

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない (協働部署が回答)。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない (実施団体が回答)。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。